

# Press Release

## 平成28年春の外国人叙勲

コンスタンス・アルバニーズ・モレラ元米連邦議員経験者協会会長の旭日重光章受章  
及びヘンリー・R・ナウ元日米国会議員会議共同事務局長の旭日中授章受章  
(日米間の議員交流及び相互理解の促進に寄与)

平成28年4月29日  
在米国日本大使館

平成28年4月29日(日本時間)、日本政府は、今年春の外国人叙勲として、91名の受章者を発表し、この中で、コンスタンス・アルバニーズ・モレラ元米連邦議員経験者協会会長及びヘンリー・R・ナウ元日米国会議員会議共同事務局長が叙勲されることが公表されました。両名は、長年にわたり、日米議員交流に積極的に貢献し、米連邦議会における対日理解促進、日米関係の発展深化に寄与した功績が認められ、旭日章を受章することとなりました。

### 1 受章者

#### (1) コンスタンス・アルバニーズ・モレラ元米連邦議員経験者協会会長

- 賞賜： 旭日重光章
- 功績概要： 日米間の議員交流及び相互理解の促進に寄与
- 氏名： コンスタンス・アルバニーズ・モレラ (Constance Albanese Morella)
- 主要経歴：
  - 元 米連邦議員経験者協会会長
  - 元 経済協力開発機構 (OECD) 米国政府代表部大使
  - 元 連邦下院議員

#### (2) ヘンリー・R・ナウ元日米国会議員会議共同事務局長

- 賞賜： 旭日中授章
- 功績概要： 日米間の議員交流及び相互理解の促進に寄与
- 氏名： ヘンリー・R・ナウ (Henry R. Nau)
- 主要経歴：
  - 現 ジョージワシントン大学教授
  - 元 日米国会議員会議共同事務局長

## 2 各受章者の功績概要

### (1) モレラ元米連邦議員経験者協会会長

モレラ氏は、昭和61年に連邦下院議員に初当選し、連邦議会における党派対立が激しさを増す中にあっても党派を超えて活躍し、共和党穏健派を代表する議員として知られています。議員引退後の平成15年からは、女性初の経済協力開発機構（OECD）米国政府代表部大使として、OECDへの二大拠出国である日米両国の連携を重視した活動を展開し、日本の国際的地位向上に貢献しました。

モレラ氏はその後、平成20年に議会日本研究グループの事務局を務める米連邦議員経験者協会に迎えられ、平成24年からは会長として、連邦議会における日米関係や東アジアをテーマとしたイベントの企画・運営、訪米した日本の国会議員と連邦議員との面談機会の設定、連邦議員及び連邦議員補佐官を対象とした訪日プログラム立ち上げ等に意欲的に取り組み、連邦議会内における対日理解の促進並びに日米議員間交流の促進に大きく貢献しました。

モレラ氏は会長退任後も引き続き議会日本研究グループの活動を支えるとともに、活躍する女性の先駆者として、女性が輝く社会に向けた日本の取組に呼応して、女性の更なる活躍の重要性について日米両国で発信を続けています。

### (2) ナウ元日米国会議員会議共同事務局長

ナウ氏は昭和48年来、ジョージワシントン大学で教鞭を執り、現在は同大学エリオットスクール国際関係大学院政治学・国際関係論の教授を務めています。

ナウ氏は、ジョージワシントン大学で教鞭を執る傍ら、日米議員交流の基盤の一つである日米国会議員会議の米側事務局の中心的存在として、平成元年の第1回会議以降、平成28年1月の第53回会議まで、延べ約300名の日本の国会議員及び連邦議員が参加した同会議の運営を一手に手がけ、日米議員交流の発展、連邦議会における対日理解の促進、日米関係の強化に貢献しました。

議会日本研究グループの活動に貢献してきたモレラ氏と、日米国会議員会議の活動に貢献してきたナウ氏の受章により、引き続き、日米議員交流が促進され、日米関係が一層発展・進化していくことが期待されます。